

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.592 ** 2017/5/2

=====

■-----

公開シンポジウム（ご案内）

ワークショップ

「まちおこしの現場から明日を考える-若手・中堅研究者の提言」

-----■

◆日時：2017年5月13日（土）14：00～17：30

◆場所：日本学術会議 講堂（東京都港区六本木7-22-34）

◆主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会

地方創生のための国土・まちづくり分科会

◆参加費：無料

◆定員：先着100名（前方4列に着席下さい）

<https://ws.formzu.net/fgen/S58173127/> より申込み下さい

◆開催趣旨：

地域格差が広がり、人口減少が続くなかで、地方創生がわが国の重要な課題となっている。観光資源や地域資源を活かしたまちおこし、自然環境と調和したまちおこし、子育て・高齢化・健康に配慮したまちづくり、既存施設の再活用、コンパクト化による拠点づくり、都市農村交流、海外交流をはじめ、様々な取り組みが各地で行われている。

本ワークショップでは、まちおこしに取り組む若手・中堅研究者に、現場の取り組み、課題、提案を発表していただく。地方創生のためには、地方の主体的な取り組みを支援するとともに、様々な分野の交流により、鍵となるコンセプトを見出す必要がある。発表をもとに、会場の一般参加者や当分科会の委員とともに、将来の方向について議論したい。

◆次第：

14：00

司会：山本佳世子（日本学術会議連携会員、電気通信大学准教授）

挨拶:小松利光 (日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会副委員長)

挨拶:佐々木 基(内閣府 地方創生推進事務局長)

趣旨説明:米田雅子 (日本学術会議会員、
地方創生のための国土・まちづくり分科会委員長)

14 : 10

発表1:辺境におけるまちおこしの現場から

徳田光弘 (九州工業大学大学院工学研究院准教授)

発表2:水・食料・エネルギーの自給循環と環境収容力

笠松浩樹 (愛媛大学農学部特任講師)

自由討議 :

コーディネータ 園田 真理子(日本学術会議連携会員、明治大学教授)

パネラー 戸所 隆 (日本学術会議連携会員、高崎経済大学名誉教授)

パネラー 小澤紀美子(日本学術会議連携会員、東京学芸大学名誉教授)

15 : 45

発表3:橋と景観とまちづくり 久保田善明 (富山大学工学部教授)

発表4:地域公共交通の活性化が地域の活性化を促すために

加藤博和 (名古屋大学環境学研究科教授)

発表5:地域自律型の次世代型・水インフラシステム

牛島 健 (北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 主査)

自由討議 :

コーディネータ 林 良嗣(日本学術会議連携会員、中部大学教授)

パネラー 嘉門雅史 (日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授)

パネラー 船水尚行 (日本学術会議連携会員、北海道大学教授)

17 : 30

閉会挨拶 浅見泰司(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

プログラムを日本学術会議のホームページに掲載しています

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/239-s-3-3.pdf>

★-----☆

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/doukou_new.html

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らってください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34